

2025 年 3 月

第 49 回文部科学大臣杯

全国高等学校囲碁選手権都道府県大会実行委員会・出場校 御中

全国大会出場のご案内

謹啓 皆様には時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

第 49 回文部科学大臣杯全国高等学校囲碁選手権大会の各都道府県大会へのご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、第 49 回の全国大会は 2025 年 8 月 4 日(月)・5 日(火)・6 日(水)にわたり、日本棋院東京本院（市ヶ谷）にて開催の運びとなりましたので宜しくご高配を賜りたく、お願い申し上げます。

謹白

この冊子「全国大会出場のご案内」には下記の内容が含まれております。

- ・全国大会開催要綱(p2～9)
- ・申込書サンプル(p10)
- ・理事会案内 (p11)
- ・教職員派遣依頼書 (p12)

ご提出いただく書類の書式は、「第 49 回日本棋院高等学校選手権特設ページ」
(<https://www.nihonkiin.or.jp/event/amakisen/highschool-gochampionship/49/index.html>)
よりダウンロードしてください。

なお選手・事務局への連絡(緊急時を含む)も、このページを通じて行います。



・**全国大会出場校**は

「学校別申込書」を上記のページからダウンロードしてご記入いただき、校長印を捺印していただいたうえ、**県大会終了後 1 週間以内**に県大会実行委員会事務局にご提出ください。

・**都道府県大会事務局**は、

「学校別申込書」を各出場校より取りまとめ、コピーを全国大会事務局（日本棋院）へ他の書類とともにご送付ください。

全国大会事務局では、「都道府県別申込書」「学校別申込書」をもとに選手名などパンフレット類作成時に使用しますので、**誤字や記入漏れのないようお願い申し上げます。**（例年選手名の誤字や、学年等の間違いがありますので、ご注意ください。）

第 49 回文部科学大臣杯全国高等学校囲碁選手権大会 全国大会開催要綱

- 1 主 催 公益財団法人日本棋院・全国高等学校囲碁連盟・
高等学校文化連盟全国囲碁専門部
- 2 後 援（予定） 文部科学省
- 3 協 賛（予定） 株式会社ブルボン、ウシヤマ電機株式会社、囲碁・将棋チャンネル
- 4 日 程 令和 7 年 8 月 4 日（月）～6 日（水） 3 日間
詳細は「**全国大会-別表 1**」の通り。
- 5 会 場 日本棋院東京本院（東京都千代田区五番町 7-2）
- 6 競技種目 男子団体戦、女子団体戦
（それぞれ、同一校の全日制または定時制に所属する 3 名で 1 チーム）
男子個人戦、女子個人戦

7 出場資格

令和 7 年 4 月 1 日現在、19 歳未満の（すなわち、平成 18 年 4 月 2 日以降に生まれた）高校生（高等専門学校の 3 年生以下および中等教育学校後期課程等相当する学校、特別支援学校を含む）で、本大会の都道府県大会において選抜された代表選手。

ただし、現在日本棋院または関西棋院の棋士・院生である者、および前年度以降に 1 日以上院生であった者（すなわち令和 6 年 4 月 1 日以降の院生経験者）は参加することができない。

なお男子団体戦・女子団体戦については、全日制および定時制の課程に属する同一校の生徒に限る。

また全国大会に参加する選手は、パンフレット、特設ページ、テレビ、新聞等の記事で選手名、学校名、学年を公表することに同意したものとみなします。同意できない場合は、全国大会に参加することはできません。

8 参加者人数

各都道府県代表の団体戦の校数および個人戦の選手の数はいずれも「**全国大会-別表 2**」の通りとする。

9 対戦の組合せ

【男子団体戦・女子団体戦】各出場校を 4～8 校ごとの 8 つの組に分け、それぞれの組でスイス式に準じる 1 次リーグ戦 3 試合を行い、各組の 1 位が決勝トーナメントに進出する。

【男子個人戦・女子個人戦】各出場校を4～8名ごとの16個の組に分け、それぞれの組でスイス式に準じる1次リーグ戦3試合を行い、各組の1位が決勝トーナメントに進出する。さらに決勝トーナメント戦1回戦を行い、ベスト8を決定する。

【各種目共通】ベスト8の決定後抽選を行い、トーナメント方式により「準々決勝」「準決勝および5位決定戦」「決勝および3～8位決定戦」を行う。

※ 1次リーグの組合せは、2025年7月5日(土)午後2時(予定)より日本棋院東京本院にて公開抽選により決定する。都道府県高等学校囲碁連盟代表者および全国大会出場校の顧問教諭で希望される方は立ち会い可能であるが、その場合は3日前までに日本棋院事業部へ連絡すること。

10 競技方法

- (1) ルールは日本棋院囲碁規約により、オール互先、先番6目半コミ出しとする。
- (2) 団体戦は、各回戦ごとに3名のうちで2名以上が勝ったチームの勝ちとする。
なお、団体戦で選手が3名そろっていないチームは、対局は可能であるがその結果にかかわらず0-3の負け扱いとする。
- (3) 持ち時間は1人35分、使い切ったら10秒の秒読みとする。
- (4) 対局開始に遅刻した場合は、遅刻した時間を持ち時間から減じて対局する。ただし、20分以上の遅刻は不戦敗とする。
- (5) 3コウ、長生などによる無勝負などで勝負の決着がつかない場合は、9路盤による決定戦を行う(持ち時間5分、使い切ったら10秒の秒読み)。
- (6) あらかじめ大会事務局に申し出た視覚障害者等が対局を行う場合は、事務局の判断により、視覚障がい者用碁盤等を用いての対局とすることがある。詳細は別に定める。

11 1次リーグ戦における順位決定

【男子団体戦・女子団体戦】次の①、それが同じなら②、それも同じなら③、それも同じなら④、それも同じなら⑤によって決定する。ただし、②または③または④によって直接対戦している2チームにしばられた場合は、その直接の対戦で勝ったチームを1位とする。

- ①チームの勝ち数
- ②チーム3名の勝った局数の合計
- ③主将の勝ち数
- ④副将の勝ち数
- ⑤主将による抽選

なお、組み合わせの都合上生じる不戦勝は、3-0での勝ちとみなす。

【男子個人戦・女子個人戦】次の①、それが同じなら②、それも同じなら③、それも同じなら④、それも同じなら⑤によって決定する。ただし、②または③または④によって直接対戦している2選手にしばられた場合は、その直接の対戦で勝った選手を1位とする。

- ①選手の勝ち数
- ②対局相手3名の勝った局数の合計(SOSポイント)
- ③対局相手のうち、負かした相手の勝った局数の合計
- ④対局相手3名のSOSポイントの合計(SOSOSポイント)
- ⑤抽選

12 全国大会の参加申込と、選手の登録および変更

- (1) 都道府県大会において全国大会の出場が決定した学校(団体・個人)は、各都道府県実行委員会事務局へ学校別申込書を所定の期日までに提出すること。

なお、団体戦については同一校の3名、または補欠1名を含む4名を、必ず実力の上位の者から順に主将・副将・三将・補欠として選手を登録すること(注1)。ただし補欠の登録は任意とする。また、同一校の全日制の生徒と定時制の生徒を混成してチームを編成することは可能である。

(注1)「実力の高い者から順に主将、副将、補欠、三将」として登録することは可能である。ただしこの場合、補欠選手が出場する場合は下記(5)の(i)に限る((ii)は不可)。

(注2)視覚障害者用碁盤の使用や車椅子での移動等、大会参加時に特別な配慮・準備を要する場合、参加申込時に大会事務局に申し出ること。

- (2) 各都道府県実行委員会事務局は学校別申込書を取りまとめ、都道府県別申込書を全国大会事務局(日本棋院)に6月末日(必着)まで送付すること。この参加申込書の提出をもって登録にかえる。
- (3) 団体戦で全国大会出場校を変更する必要がある場合、および個人戦で全国大会出場選手を変更する必要がある場合は、全国大会開催初日の8日前まで(2025年7月27日まで)に全国大会事務局まで届け出る必要がある。それ以降は受理されない。
- (4) 団体戦では、一度登録した選手の順番を変更することはできない。ただし、やむを得ない事情が生じたために団体戦の選手登録そのものを変更する場合は、全国大会団体戦当日の受付時まで、所定の用紙に記入して事務局に届け出ること。当日の受付後は認めない。
- (5) 団体戦の試合当日は(4)にかかわらず、途中の試合から補欠選手が出場する case に限り、選手の変更を1回だけ認める。このとき、(i)三将を交代させる場合は、主将と副将の順位を変えることはできない。(ii)主将または副将を交代させる場合は、あらかじめ登録している選手を順に主将、副将に繰り上げ、補欠選手は三将に入れること。

なお、(i)(ii)いずれの場合も、実力の高い者から順に主将、副将、三将となるようにする必要がある。また、一度退いた選手は、再び出場することはできない。補欠選手を出場させる場合は、その試合の開始時刻の前に、所定の用紙に記入して大会本部に届け出ること。

13 全国大会当日の受付

団体戦の参加選手は8月4日(月)午前8:30~9:00の間に、個人戦の参加選手は8月5日(火)午前11:30~12:00の間に、それぞれ日本棋院東京本院1Fの受付に参集し、受付を必ず済ませること。

『会場への到着が受付時間内に間に合わないが、大会への参加の意思がある』場合は、必ず各受付の締切(団体戦は当日の9:00、個人戦は当日の12:00)までに、その旨を電話により日本棋院へ連絡すること。連絡がない場合は、原則として大会に参加できない。

14 表彰

男子団体戦・女子団体戦の優勝校にはそれぞれ文部科学大臣奨励賞状並びに文部科学大臣杯、及び優勝杯を授与する。また優勝~8位までの学校に楯、ならびに賞状を授与贈呈する。

男子個人戦・女子個人戦の優勝者にはそれぞれ文部科学大臣奨励賞状並びに文部科学大臣杯を授与する。また優勝～8位までの選手に楯、ならびに賞状を授与贈呈する。

15 その他

◇ 競技進行・会場使用に関する注意事項

(1) 競技上の注意

- ア 対局はオール互先で先番6目半コミ出しです。
- イ 団体戦は高校名プレート置いてある方から順に、主将、副将、三将の順に着席してください。
- ウ 団体戦は主将同士が石を握って先後を決め、以下先手番・後手番が交互になります。
- エ 持ち時間はそれぞれ一局35分で、使い切ったら10秒の秒読みとします。
- オ 時計を左右どちらの側に置くかは、白番の選手が決めてください。
- カ 競技開始時に相手選手が着席していない場合は、時計を押して進行させ、相手の消費時間とします。なお20分を経過した場合は、不戦勝とします。
- キ 時計は必ず着手と同じ手で押してください。なお、最初は挨拶のあと、白番が相手の着手前に押し、以降はそれぞれが自分の着手が完了した後に押してください。
- ク 対局中、自分が崩した石の修復は、自分の持ち時間で行ってください。
- ケ 石を取り上げる場合は、自分の持ち時間内で取り終わってから時計を押してください。ただし秒読み中に限り、対局時計の「PAUSE」ボタンを押して一時的に時計を止め、石を取り終わってから再度「PAUSE」ボタンを押して再開することはさしつかえありません。
- コ 競技中問題が生じたとき(相手に反則行為があった場合を含む)は、直ちに本人が対局時計の「PAUSE」ボタンを押して時計を止め、かつ手を挙げて審判に知らせてください。なおこの場合、審判の裁定に従ってください。また、選手の申し出によらず、審判が裁定を行う事があります。
- サ コの申し立ては、対局中であっては当該選手(団体戦にあつては主将選手を含む)または顧問教諭のみが行うことができます。また対局終了後ならびに大会終了後の疑義の申し立ては、当該校の顧問教諭または校長・教頭等のみが行うことができます。それ以外の方(選手の保護者等)は、生徒を引率しているかどうかにかかわらず、疑義等の申し立てを行うことは一切できません(受け付けられません)。

(2) 進行上・会場使用上の注意

- ア 対局の開始時刻は変更される場合がありますので、十分注意してください。
- イ 選手および引率者は、必ず名札を着用してください。
- ウ 選手は対局前の最初に対戦相手を確認してください。
- エ 対局中は携帯電話・スマートフォン・電子機器類の使用は禁止です。選手は電源を切ってカバンの中にしておくこと。また機器類は対局終了後も対局場内では使用禁止です。
- オ 対局者以外は、通路以外の対局場に入らないでください。また携帯電話・スマートフォンの電源を切るか、マナーモードにしてください。主催者以外の対局場内での棋譜取りは禁止とします。

カ オにかかわらず、団体戦、個人戦の1次リーグ1回戦に限り、対局開始から3分間に限って、対局場内での写真撮影を認めます。ただし選手の対局の妨げにならないようにしてください。

キ 対局中は競技の妨げとならないように、私語を慎み、静かにしてください。

ク 対局終了後は対局カードに結果を速やかに記入のうえ、対局者2名(団体戦は両チームの主将)が、プレートと対局カードの両方を受付に直ちに提出してください。

ケ 対局終了後はすみやかに退席してください。

コ 上記の規定に反する行動を行った者には退場を命ずることがあります。

サ 競技運営上の疑義が生じた場合は、当該校の顧問教諭または主将が審判に申し出てください。

シ 貴重品の管理は各自で責任を持ってください。

ス 昼食は各自でご用意ください。飲食は指定された場所でお願います。なおゴミは各自で持ち帰ってください。

◇ 宿泊について

宿泊を必要とされる選手は、各参加校ごとに宿舎をご予約ください。

なお日本棋院では、ご希望される選手・引率者の方向けに「パールホテル両国(JR 総武線両国駅正面)」「パールホテル茅場町(東京メトロ茅場町駅徒歩3分)」への宿泊のあっせんを行っております。ご希望の方は、特設ページ(本冊子 p1 に記載)から申込用紙をダウンロードしてください。

◇ 旅費補助について

第48回大会より、参加選手への旅費補助はすべて廃止となりました。ご了承ください。

◇ 災害等、緊急事態が生じた場合の大会開催について

台風などによる災害時の大会開催については事務局で判断し、変更がある場合は特設ページ(本冊子 p1 に記載)に掲載いたします。

16 問合せ先

全国高等学校囲碁選手権大会事務局

〒102-0076 東京都千代田区五番町7-2 日本棋院事業部 担当：平本

mail: hiramoto@nihonkiin.or.jp 電話 03-3288-8729 Fax 03-6734-6381

《会場：日本棋院東京本院》

JR「市ヶ谷駅」から徒歩3分

東京メトロ「市ヶ谷駅」2番出口から徒歩3分

都営地下鉄「市ヶ谷駅」A2出口から徒歩3分



全国大会-別表 1

第 49 回文部科学大臣杯全国高等学校囲碁選手権大会
全国大会日程表（予定）

月 日	時 間 割	競 技
8 月 4 日(月)		
第 1 日	09 : 20～09 : 40	開会式
	【団体戦】	
	09 : 40～11 : 00	1 次リーグ 1 回戦
	11 : 10～12 : 30	1 次リーグ 2 回戦
		(昼休憩)
	13 : 20～14 : 40	1 次リーグ 3 回戦
	団体戦【抽選】	
	15 : 10～16 : 30	準々決勝戦
	16 : 40～18 : 00	準決勝戦と 5 位～8 位戦
8 月 5 日(火)		
第 2 日	09 : 00～10 : 20	決勝戦と 3 位～8 位戦
	10 : 40～11 : 00	表彰式
		(昼休憩)
	【個人戦】	
	12 : 20～12 : 30	開会式
	12 : 30～13 : 50	1 次リーグ 1 回戦
	14 : 00～15 : 20	1 次リーグ 2 回戦
	15 : 30～16 : 50	1 次リーグ 3 回戦
	17 : 00～18 : 20	決勝トーナメント 1 回戦
	個人戦【抽選】	
8 月 6 日(水)		
第 3 日	09 : 00～10 : 20	準々決勝戦
	10 : 30～11 : 50	準決勝戦と 5 位～8 位戦
		(昼休憩)
	12 : 30～13 : 50	決勝戦と 3 位～8 位戦
	14 : 10～14 : 40	表彰式・閉会式

※ 時間割は都合によって変更となる場合があります。

全国大会-別表2 令和7年度都道府県別全国大会出場枠

都道府県	団体戦(校)		個人戦(人)		都道府県	団体戦(校)		個人戦(人)	
	男子	女子	男子	女子		男子	女子	男子	女子
北海道	1	1	2	2	滋賀	1	1	2	2
青森	1	1	2	2	京都	1	1	2	2
岩手	1	1	2	2	大阪	1	1	2	2
宮城	★2	1	2	2	兵庫	1	1	2	2
秋田	1	1	2	★3	奈良	1	1	2	2
山形	1	1	2	2	和歌山	1	1	2	2
福島	1	1	2	2	鳥取	1	1	2	2
茨城	1	1	2	2	島根	1	1	2	2
栃木	1	1	2	2	岡山	1	1	2	2
群馬	1	1	2	2	広島	1	1	2	2
埼玉	1	1	2	2	山口	1	1	2	2
千葉	1	1	2	2	徳島	1	1	2	2
東京	2	★3	4	4	香川	1	1	2	2
神奈川	1	1	2	2	愛媛	1	1	2	2
新潟	1	1	2	2	高知	1	1	2	2
富山	1	1	2	2	福岡	1	1	2	2
石川	1	1	2	2	佐賀	1	1	2	2
福井	1	1	2	2	長崎	1	1	2	2
山梨	1	1	2	2	熊本	1	1	2	2
長野	1	1	2	2	大分	1	1	2	2
岐阜	1	1	2	2	宮崎	1	1	2	2
静岡	1	1	2	2	鹿児島	1	1	2	2
愛知	1	1	★3	2	沖縄	1	1	2	2
三重	1	1	2	2	中学名人経験者			1	0
合計						49校	49校	98名	97名

※ 都道府県別の全国大会出場枠

(1) 基本枠：男子団体戦1校、女子団体戦1校。ただし東京都は各2校。

男子個人戦2名、女子個人戦2名。ただし東京都は各4名。

(2) 前年度優勝枠：団体戦の前年度優勝チーム・個人戦の優勝者を出した都道府県(男子団体戦：宮城県、女子団体戦：東京都、男子個人戦：愛知県、女子個人戦：秋田県)は、それぞれ相当する競技種目を1つずつ増枠とする(表中の★印)。ただし、男子団体戦および女子団体戦には、それぞれ1校から最大1チームのみ参加できる。

(3) 少年少女囲碁大会全国大会の中学生の部で優勝経験のある者が今年度高校1年に在学している場合は、(1)(2)とは別枠で、男子個人戦または女子個人戦への参加を認める。

なお各競技種目の参加申込数が奇数になった場合は、関東地区より1校あるいは1名を補充する。

**全国高等学校囲碁選手権大会（全国大会ならびに各都道府県大会）における
アイゴ等（視覚障がい者用碁盤・碁石セット）使用に関する規定及び運用**
(令和6年7月6日作成、令和7年3月20日改訂)

標記の大会の、「視覚障がい者用碁盤・碁石セット（「アイゴ」および「アイゴツー」等、以下「アイゴ等」とする）に関する規則および運用は、令和7年4月1日より以下の通りとする。なお、各都道府県大会における段級位認定戦および初心者大会については、この限りではない。

(1) 趣旨

一般に視覚障がいをもつ選手の大会参加の権利を確保することを目的とする。また、この規定を全国高等学校囲碁選手権大会特設HPにて掲載し、すべての選手が事前に閲覧できるようにする。

(2) 使用の申請について

- ア 「全国大会」ならびに「各都道府県大会」に参加する、視覚障がいをもつ選手（以下「当該選手」）が希望する場合、大会申込締切日（予選大会：各都道府県による、全国大会：通常6月末日）までに大会事務局に申し出ること。
- イ 大会事務局が当該選手は通常の碁盤での対局が困難であると判断し、かつ都道府県大会での使用実績がある選手に限り、対局用の碁盤として「アイゴ等」を使用させることを許可することができる。ただし台数の関係で必ずしも認められない場合もある。また、全盲かつ音声による意思疎通が難しい等、受け入れ側の態勢上困難な場合は、参加を制限する場合もある。

(3) 「アイゴ」を使用する場合の対局の条件

- ア 事務局は必要があると認めた場合、通常の碁盤に代えて「アイゴ等」を用いた対局を指示することができる。なお秒読みでのトラブル等を避けるため、1名の審判を配置する。
- イ 「アイゴ」を使用する場合は、秒読みに入る前であっても、「Pause」ボタンを押して対局時の進行を止め、石を取り上げてから再度「Pause」ボタンを押して対局を再開させることができる。
- ウ 石をはめ損なうケースも考慮し、秒読みに入ってから「着手する盤面の地点を『ここ』と示す」ことによって、着手を行ったものとする（ただし「ここ」と示す前に「10」をコールされた場合は、時間切れ負けとする）。この時対局時計の表示が「End」になった場合は、「End」にならなかったものとみなして、選手が着手した石をきちんとはめた後、対局時計の時間を調整し、対局を再開する。

(4) 対戦相手への通知

- ア 組み合わせ抽選の結果、1次リーグおよび決勝トーナメント1回戦で当該選手と対戦する可能性がある選手に対しては、大会開催日1週間前までに各都道府県の事務局を通じて、当該選手と対戦の可能性があること、および「アイゴ等」を使って対局する可能性があることを通知する。
- イ 上記の選手に対しては、全国大会当日の開会式の前に集ってもらい、大会本部の役員から「アイゴ等」の使い方を説明する。
- ウ イの説明を行い、かつ上記（3）の「対局の条件」を示したうえ、各選手に「アイゴ等」を使用して対局を行うことを説明する。
- エ 団体戦または個人戦で当該選手がベスト8に進出した場合は、対局の可能性がある選手すべてに、準々決勝が始まるまでに上記ア～エと同じ要領で説明を行う。

⑤

第49回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権全国大会 (学校別) 申込書

※大会終了後、1週間以内に「各県事務局まで」提出してください。

令和7年度 第49回文部科学大臣杯全国高等学校囲碁選手権大会

*都道府県名

大会実行委員会事務局 御中

第49回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会全国大会に下記のとおり参加申込みをいたします。

全国大会出場校	学校設置者別		課程	
	*ふりがな			
	*学校名			
	*学校長名		*担当教諭名	
	*学校住所			
	*学校電話			
	*ふりがな *学校別引率者名			*引率者の緊急連絡電話(携帯可)

☆全国大会出場

	代表選手	*ふりがな	*性別	*学年	*棋力	住所・電話 (4. 広域通信制の場合は必須*, 引率者の緊急連絡先が未記入の場合も必須*)
		*氏名			*生年月日(西暦で)	
団体戦	主将					〒 Tel
	副将					〒 Tel
	三将					〒 Tel
	補欠 (登録任意)					〒 Tel
個人戦	個人					〒 Tel
	個人					〒 Tel

記入方法 (*印はすべて記入または選択してください)

- 個人参加の場合でも、大会申込について学校の了承を得た証として学校印の押印は必須とします。
- 引率者の緊急連絡先が未記入の場合は各選手の住所、電話番号の記入を必須とします。
- 団体戦は実力の上位順に主将・副将・三将(・補欠)とし、その順位の変更はできません。
- 本申込に基づきパンフレットを作成しますので選手名は楷書で正しくご記入下さい。(例年名前間違いがあります)
- 選手の個人情報は大会運営、主催者からのご案内以外には使用いたしません、全国大会でのパンフレット、テレビ、新聞など記事使用に選手名、学校名、学年を公表しますので、予めご了承ください。(生年月日、住所電話は非公開)
また、大会において写真や取材コメント等、各種メディアに掲載の可能性があります。併せてご了承ください。
- 選手が個人情報の取扱いに承諾せず大会運営に支障をきたすおそれがあるときは、出場を取消すことがあります。

本申込書は各県大会事務局に提出してください。(都道府県大会実行委員会保管)

令和7年4月

理事各位

全国高等学校囲碁連盟
会長 田村嘉浩



(印影印刷)

全国高等学校囲碁連盟理事会の開催について

標記の件、下記要領にて本年度の全国高等学校囲碁連盟理事会を開催いたしますので、理事各位のご出席をお願いいたします。

記

日時 令和7年8月5日(火) 14:00～
(全国高等学校囲碁選手権大会全国大会2日目)

会場 日本棋院東京本院 市ヶ谷会館
東京都千代田区五番町7-2
(JR・地下鉄「市ヶ谷」駅下車 徒歩2分)
電話 03-3288-8729 FAX 03-6734-6381

課題 事業報告
予算・決算
その他

- (備考) 1. 必ず各都道府県から1名ご出席ください。
2. 旅費等の支給はいたしかねますので、ご了承ください。

以上

令和7年4月

学 校 長 殿
県高等学校囲碁連盟会長 殿

全国高等学校囲碁連盟
会長 田 村 嘉 浩



(印影印刷)

教職員の派遣について（依頼）

標記の件、下記要領にて全国大会および理事会を開催いたしますので、本連盟役員先生の派遣についてご配慮いただきたくお願いいたします。

記

第49回文部科学大臣杯全国高等学校囲碁選手権大会全国大会

日時 令和7年8月4日（月）～8月6日（水）

会場 日本棋院東京本院（市ヶ谷）

東京都千代田区五番町7-2

電話 03-3288-8729 FAX 03-6734-6381

全国高等学校囲碁連盟理事会

日時 令和7年8月5日（火）14:00～

（全国高等学校囲碁選手権大会全国大会2日目）

会場 日本棋院東京本院（市ヶ谷）

東京都千代田区五番町7-2

電話 03-3288-8729 FAX 03-6734-6381

以上